

地域活動を応援する

地域のわ通信

R4年12月
NO.82

過去の「地域のわ通信」は
こちらをご覧ください。



空き家が地域の交流拠点に生まれ変わりました！

子安の丘みんなの家

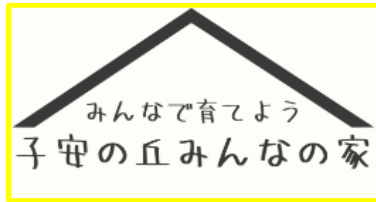
空き家を活用して多世代の交流拠点として再生した「子安の丘みんなの家」をご存じでしょうか？

地域の方々の繋がりを大切に、助け合いのまちづくりをコンセプトに、2022年5月にオープンしました。

誕生したばかりの「子安の丘みんなの家」に関わる人たちに、活動内容や交流拠点に込める思いなどを伺いました。



① 築50年あまりの2階建て空き家だったころの様子（1階:DK/トイレ浴室、2階:続き間の和室）



② 地域の方と一緒に解体作業する様子



③ 生まれ変わった空き家（1階は8人座れるダイニング、2階は8人ほどが会議できるスペース）

■ 地域のためになる交流拠点にしよう！が出发点

新子安駅から徒歩15分ほどの坂を上った住宅街の一角に「子安の丘みんなの家」（以下、「みんなの家」）があります。築50年あまりの木造2階建ての空き家が、区内の企業や地域住民らを巻き込み、ヨコハマ市民まち普請事業（*）を活用して、交流拠点として生まれ変わりました。

代表の田中裕治さんは、空き家活用に力を入れる不動産業を神奈川県内で営み、この物件の所有者でもあります。「これまで仕事で培ったノウハウや繋

がりを活かして、地域にとっても役立つ、多世代が交流できる居場所をつくりたい！という思いから、空き家再生が動き出しました」と田中さん。とは言っても、子安台にまったく地縁がない中、簡単に実現できたわけではありません。

「仕事関係者、地域企業の方々の応援や地域にお住まいの方々の協力を得られたことで、壁にぶち当たりながらもこのプロジェクトを進めていくことができました」と、振り返ります。

■「子安の丘みんなの家」に関わるメンバーの想い



田中 裕治さん

「子安の丘みんなの家」代表
株式会社リライト 代表

イベントに参加した地域のみなさんやメンバーの笑顔を見ると、「みんなの家」を開いて良かったと思います。この場所で出会いから新たな活動が、生み出されたら、さらに嬉しいですね。



小山 将史さん

一級建築士
小山将史建築設計事務所
代表

子安小学校キッズクラブの子どもたちに木材とゴムを使った簡単な家づくりのワークショップなどを通して、地域の子どもたちにもこの場所を知ってもらおう取組を進めています。



開嶋 数男さん

新子安地区
民生委員児童委員協議会
会長

世代を超えた交流拠点になることを目指して、子育て世代とシニア世代の橋渡しの場になればと思っています。地域や団体と連携を大事にしながら活動を進めていきたいです。



阿部 博美さん

「子安の丘みんなの家」
副理事長・料理研究家

どなたでも参加できる家族食堂は、温かいごはんを一緒に食べ、おしゃべりし、ホッとできる時間を過ごせます。忙しくしている人がゆったりくつろぐ中で、これからの夢を育てる場になればと思っています。



山本 大貴さん

浅野工学専門学校
専任講師

関わってくださる方々と一緒に居場所をつくっていく。その過程で生まれる出会いや感動を共有して、私たちも一緒に育っていく。そんな居場所になればいいなと思います。



蓑田 雅さん

子安小学校
PTA会長

世代を超えたつながりが生まれる居場所として、多くの地域の方々に立ち寄っていただき、子どもたちを見守る、安心安全につながる交流がたくさん増えて欲しいと思います。

■多世代がつながり、交流できる地域の居場所

「みんなの家」では、「家族食堂（サロン）」「料理教室（スクール）」「かたり場（子育て支援）」などが定期的開催されています。メインの活動である「家族食堂（毎週金曜日17時～20時開催）」では、近くにお住まいのご家族や、ふらりと立ち寄った方どうしがテーブルを囲んで、今日あった出来事や最近気になっていることを自然に話すなど、温かな繋がりが生まれています。

12月は季節ならではのイベントとして「アイシングクッキーづくり」や「キャンドル教室」を実施し、「みんなの家」を知らなかった方々にも楽しく参加いただける機会を増やしています。

高齢化が進む一方で、新たな若い世帯の転入も増えている地域だからこそ、地域の方とのつながりを大切にしながら多世代が交流できる拠点を目指す「子安の丘みんなの家」のこれからの活動に期待が膨らみます。

「子安の丘みんなの家」の概要

Chiikiryoku Up!

活動概要	
場所	神奈川県横浜市神奈川区子安台1丁目17-7 (JR「新子安駅」より徒歩15分)
内容	地域住民に合わせた取組を実施 ■家族食堂 ■まちカフェ ■料理教室+ランチ ■かたり場 など
	※1階、2階のスペースはレンタル可能で地域の方も利用できます。 ★詳しくはQRコードをチェック！
(*) ヨコハマ市民まち普請事業を活用	ヨコハマ市民まち普請事業は、まちづくりに対する優秀なアイデアに市が助成金を交付するもの。最大で500万円。「子安の丘みんなの家」は令和3年度整備施設。
連絡先	「子安の丘みんなの家」 電話：090-2155-0449 メール： koyasu.m.home@gmail.com HP： https://minnanoie.site/

